

全国シンポジウム「いま改めて考えよう 地層処分 in 札幌」
2017年5月27日



～パネルディスカッション用資料～

高レベル放射性廃棄物処分に関する 人びとの意識

パブリック・アウトリーチ
木村 浩

自己紹介

木村 浩 (きむら ひろし)

所属：

特定非営利活動法人パブリック・アウトリーチ 理事／研究企画部 研究統括
一般社団法人環境政策対話研究所 理事
東京大学 非常勤講師
上智大学 非常勤講師
北海道大学 非常勤講師

経歴：

2003年 3月 東京大学 大学院工学系研究科 システム量子工学専攻博士課程 修了
博士 (工学)
2003年 4月 社会技術研究システム 研究員
2004年 7月 東京大学 大学院工学系研究科 講師
2006年 4月 東京大学 大学院工学系研究科 助教授 (准教授)
2013年 4月 特定非営利活動法人パブリック・アウトリーチ 研究企画部 研究統括
2015年 7月 一般社団法人環境政策対話研究所 理事

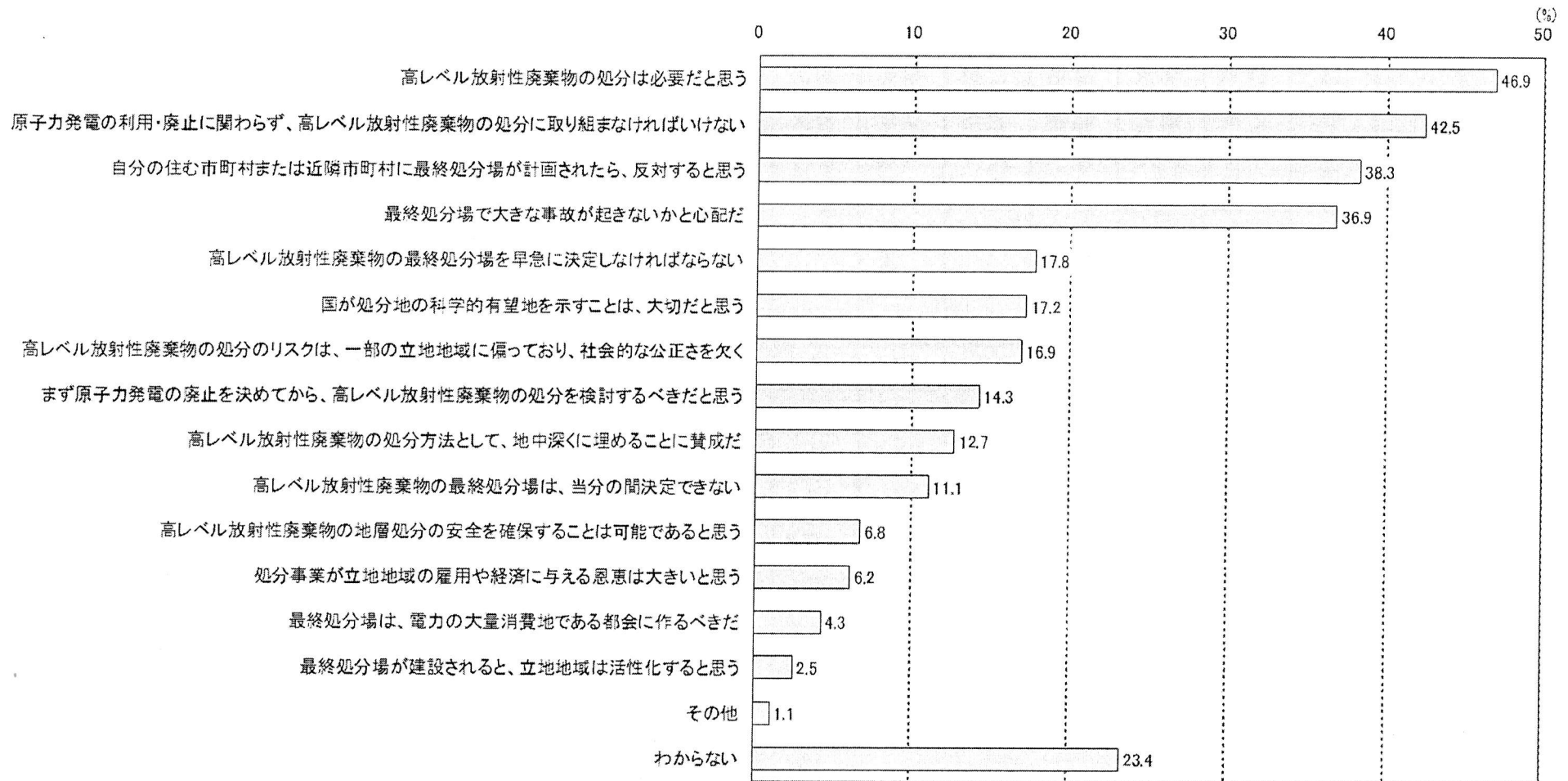
現在に至る

専門領域：

リスク認知、リスク・コミュニケーション、リスク・ガバナンス、社会調査等
主なフィールドは、社会と原子力との関係領域

高レベル放射性廃棄物処分に関する意見

高レベル放射性廃棄物の処分について、あなたは、以下のような意見をどのように感じますか（複数回答）



高レベル放射性廃棄物処分に関する意見

(知識量・社会性によるクロス集計)

(%)

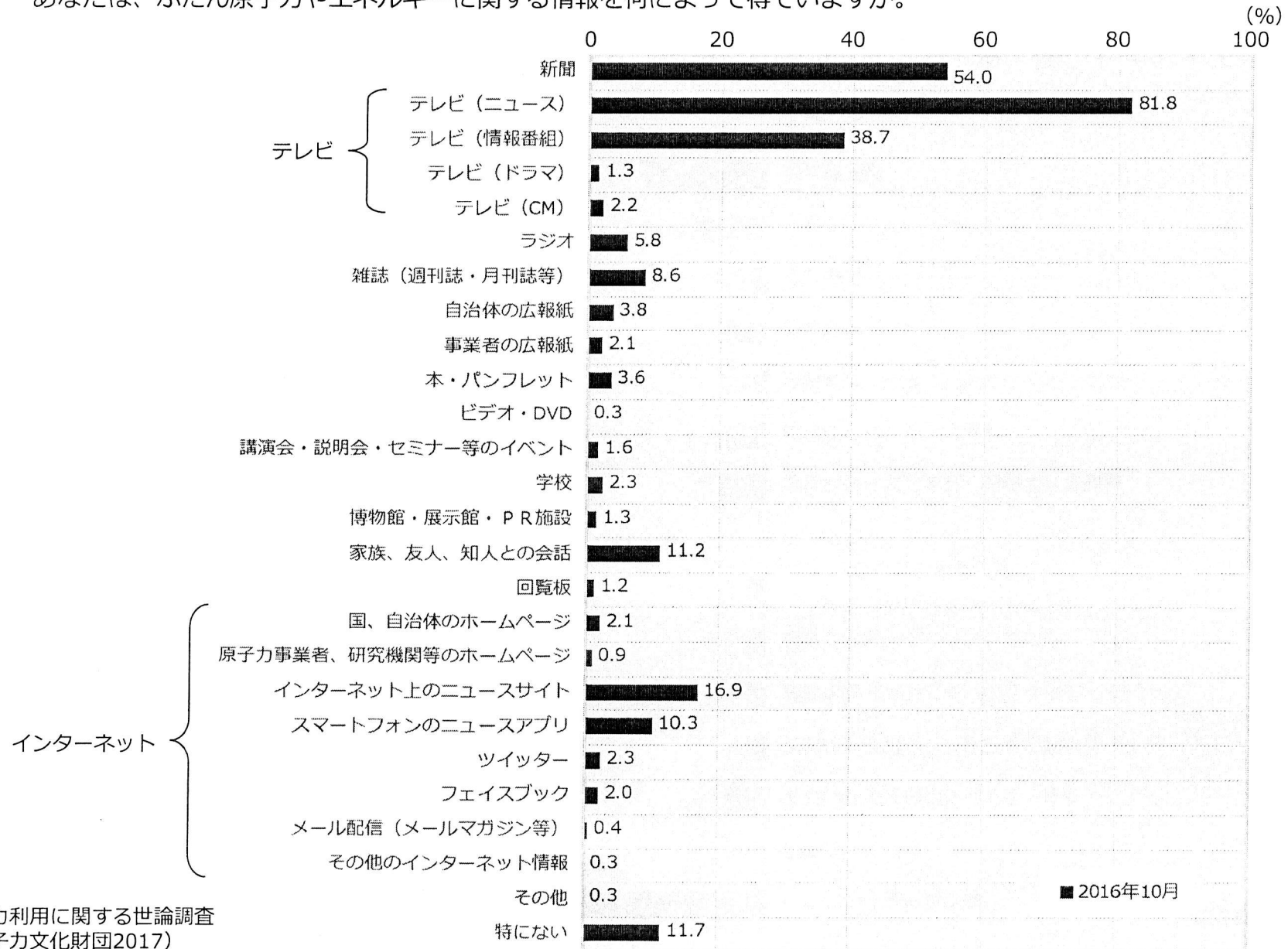
	N	処分は必要だと思う	原発利用廃止に関わらず 処分検討必要	自宅近隣に 処分場計画されたら反対	最終処分場で 事故が起きないか心配	最終処分場を 早急に決定すべき	国が処分地の科学的有望地 を示す事大切	処分のリスクは 社会的な公正さを欠く	原発廃止してから検討すべき	地中深くに埋めることに賛成	最終処分場は 当分の間決定できない	地層処分の安全を 確保するのは可能	処分事業が 立地地域に与える恩恵大	最終処分場は都会に作るべき	最終処分場建設で 立地地域活性化する	わからない
全体	1200	46.9	42.5	38.3	36.9	17.8	17.2	16.9	14.3	12.7	11.1	6.8	6.2	4.3	2.5	23.4
知識高	113	66.4	64.6	42.5	36.3	37.2	24.8	29.2	23.0	27.4	23.9	12.4	10.6	8.0	3.5	6.2
知識中	400	55.8	54.0	44.3	46.8	21.3	20.8	21.8	17.0	16.3	14.8	8.8	8.0	5.8	3.8	10.5
知識低	347	45.2	40.9	41.2	38.6	15.3	17.3	15.3	13.3	10.7	8.4	4.6	4.6	2.3	1.4	24.8
知識無	340	31.8	23.2	26.8	23.8	9.7	10.3	8.8	9.1	5.6	5.3	5.0	4.1	3.2	1.8	42.9
社会性高	134	61.2	63.4	53.7	61.2	31.3	30.6	27.6	32.1	20.9	17.9	12.7	10.4	7.5	4.5	7.5
社会性中	561	55.4	51.2	47.1	41.9	23.4	22.1	21.0	16.8	15.5	13.9	8.2	8.9	4.8	2.9	14.3
社会性低	349	37.0	30.1	26.9	28.7	8.9	9.2	11.7	7.4	8.3	6.3	4.9	2.6	3.2	1.7	31.5
社会性無	156	26.3	21.2	18.6	16.7	5.8	5.8	4.5	5.1	5.1	5.8	1.3	0.6	1.9	1.3	51.9

25%~40%

40%~

情報源 (メディア)

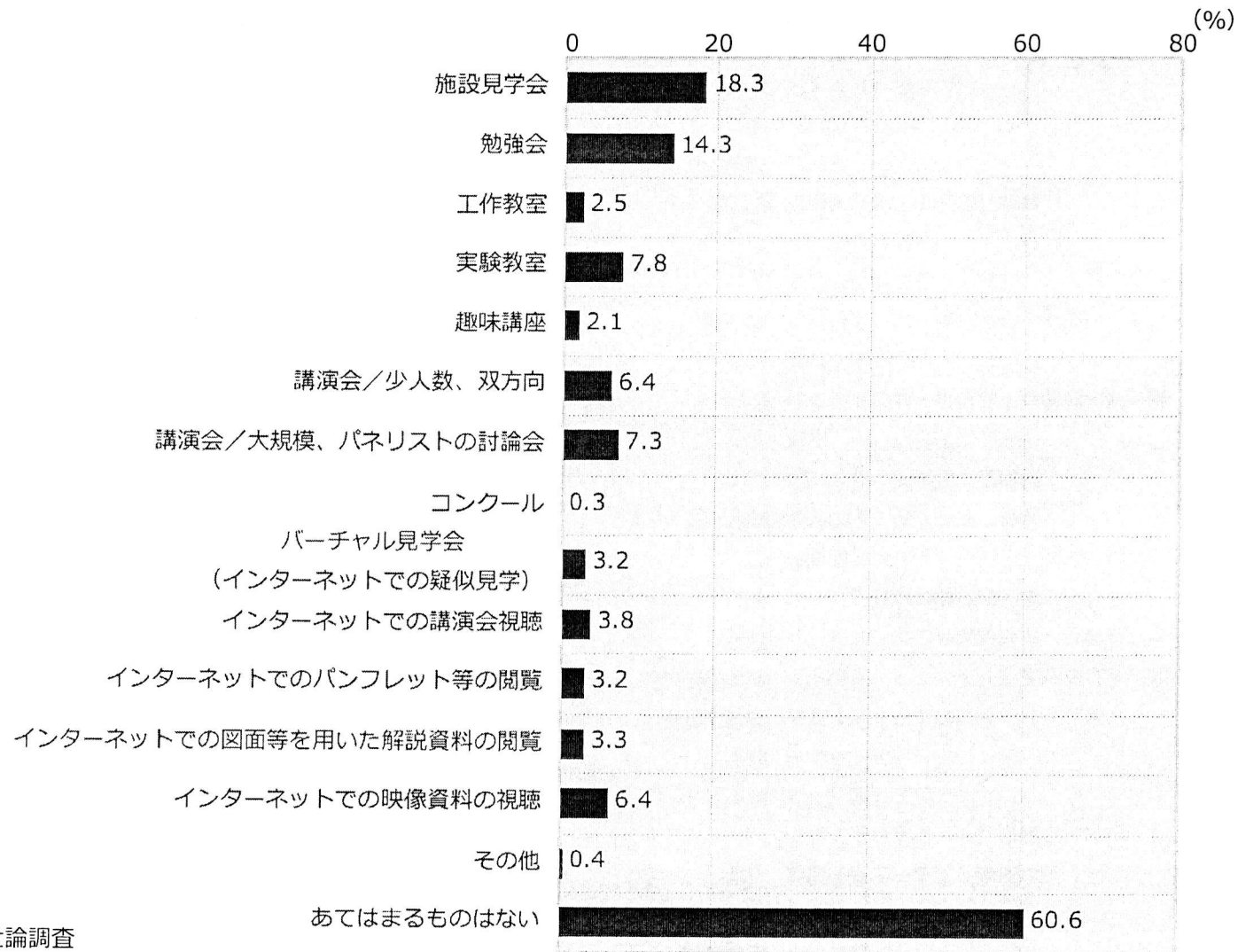
あなたは、ふだん原子力やエネルギーに関する情報を何によって得ていますか。



原子力利用に関する世論調査
(原子力文化財団2017)

参加したいイベント等

「原子力やエネルギーに関するイベント」の中で、参加してみたいものはどれですか。



(%)

	N	新聞	テレビ (ニュース)	テレビ (情報番組)	テレビ (ドラマ)	テレビ (CM)	ラジオ	雑誌	自治体広報誌	事業者広報誌	本・パンフ	ビデオ・DVD	講演会・説明会	学校	博物館・展示館	家族・友人・ 知人など	回覧板	国・事業者 ホームページ	原子力事業者 ホームページ	ニュースサイト	ニュースアプリ	ツイッター	フェイスブック	メール	その他の インターネット	その他	特になし
全体	1200	54.0	81.8	38.7	1.3	2.2	5.8	8.6	3.8	2.1	3.6	0.3	1.6	2.3	1.3	11.2	1.2	2.1	0.9	16.9	10.3	2.3	2.0	0.4	0.3	0.3	11.7
知識高	113	73.5	86.7	49.6	3.5	3.5	11.5	12.4	5.3	3.5	14.2	1.8	5.3	5.3	5.3	9.7	-	5.3	4.4	31.0	11.5	4.4	3.5	0.9	0.9	1.8	0.9
知識中	400	63.3	88.3	43.5	1.0	1.3	5.8	12.3	4.5	3.3	4.0	0.3	2.0	3.3	1.8	13.8	0.8	2.3	1.5	23.5	13.0	2.8	3.0	0.8	0.5	0.3	3.8
知識低	347	51.0	86.2	39.8	1.7	2.3	4.3	7.2	4.0	2.0	2.0	-	0.9	1.7	0.6	12.1	1.7	2.0	-	14.4	10.7	1.4	0.9	0.3	-	-	9.2
知識無	340	39.7	67.9	28.2	0.3	2.6	5.3	4.4	2.4	0.3	1.2	-	0.6	0.6	0.3	7.6	1.5	0.9	-	7.1	6.5	1.8	1.5	-	0.3	-	27.1
社会性高	134	76.1	95.5	57.5	5.2	3.7	14.2	17.2	8.2	7.5	6.0	-	4.5	2.2	2.2	17.2	0.7	3.7	2.2	20.1	9.0	3.0	5.2	3.0	0.7	-	2.2
社会性中	561	63.3	87.2	44.0	0.9	2.5	6.6	11.1	5.0	2.0	4.5	0.4	1.8	3.0	1.8	12.8	1.2	2.7	1.4	20.0	11.8	2.0	2.0	-	0.4	0.4	6.4
社会性低	349	42.7	76.8	29.8	0.6	1.7	2.9	3.2	1.4	1.1	2.0	0.3	0.6	1.4	0.9	9.5	0.9	1.4	-	13.5	10.6	2.9	1.7	0.3	0.3	-	13.8
社会性無	156	26.9	61.5	23.1	0.6	0.6	1.9	4.5	1.3	-	1.9	-	0.6	1.3	-	3.8	1.9	-	-	10.9	5.8	1.3	-	-	-	0.6	34.0

10%~20% 20%~50% 50%~

(%)

	N	施設見学会	勉強会	工作教室	実験教室	趣味講座	講演会 少人数 双方 方向	講演会 大規模	コンクール	見学会 バーチャル	講演会 視聴 インターネット	インターネット パンフレット	インターネット 解説資料	インターネット 映像資料	その他	なし
全体	1200	18.3	14.3	2.5	7.8	2.1	6.4	7.3	0.3	3.2	3.8	3.2	3.3	6.4	0.4	60.6
知識高	113	23.9	28.3	0.9	8.8	0.9	13.3	13.3	-	3.5	9.7	5.3	5.3	8.0	0.9	43.4
知識中	400	23.0	20.8	2.0	9.5	2.3	9.5	9.8	0.3	3.8	4.5	4.0	4.8	8.5	0.5	52.5
知識低	347	15.6	9.2	3.5	8.6	2.3	4.6	7.2	0.9	3.2	3.7	3.2	2.9	6.6	-	63.4
知識無	340	13.8	7.1	2.6	4.4	2.1	2.4	2.6	-	2.4	1.2	1.5	1.2	3.2	0.6	72.9
社会性高	134	30.6	32.8	3.0	15.7	3.7	20.1	20.9	2.2	4.5	6.7	6.7	6.0	12.7	1.5	31.3
社会性中	561	23.5	16.8	3.4	10.3	3.2	7.1	9.1	0.2	4.1	4.8	3.7	4.1	7.7	0.2	50.4
社会性低	349	10.0	7.2	1.4	2.9	0.3	2.3	1.7	-	2.3	2.3	1.7	1.7	4.6	0.6	76.5
社会性無	156	7.7	5.1	1.3	2.6	0.6	1.3	1.9	-	0.6	1.3	1.3	1.3	0.6	-	86.5

10%~20% 20%~50% 50%~

紹介した調査の概要

- 平成27年度原子力利用に関する世論調査
(原子力文化財団)
 - オムニバス調査
 - 割り当て留め置き法
 - 全国15～79歳男女 1200人
 - 2016年10月5日～10月17日

<https://www.jaero.or.jp/data/01jigyuu/tyousakenkyu.html>

知識量・社会性の指標

知識量

- 日本のエネルギー自給率は6%である
- 二酸化炭素は地球温暖化の原因となる温室効果ガスの一つである
- 電力を安定的に供給するため、さまざまな発電方式を組み合わせて発電されている
- 原子力発電はウランの核分裂で発生した熱で水蒸気を作り、タービン発電機を回して発電している
- 火力発電は化石燃料を燃やした熱で水蒸気を作り、タービン発電機を回して発電している
- フランスの発電電力量の約8割は原子力発電が担っている
- ドイツは今後、国内の原子力発電を段階的に廃止する方針である
- プルサーマルとは、原子力発電の使用済燃料から回収したプルトニウムを、再び原子力発電（軽水炉）の燃料として利用することである
- 使用済核燃料のウランとプルトニウムを取り出し、再び燃料として使用する一連の流れを核燃料サイクルという
- 軽水炉の燃料は核分裂しやすいウランの割合が3～5%であるのに対し、原子爆弾はほぼ100%である
- 私たちは宇宙や大地、大気や食物から常に自然の放射線を受けている
- 放射線と放射能は違う
- 放射線は医療・工業・農業等さまざまな分野で利用されている
- 確定的影響は、一定量の放射線を受けると必ず現れる影響で、確率的影響は、放射線を受ける量が多くなるほど影響が現れる確率が高まる影響である

・・・「よく知っている」「ある程度知っている」の個数

知識高：11～14

知識中：4～10

知識低：1～3

知識無：0

社会性

- 現在、ボランティア活動をしている。もしくは近年に活動したことがある
- ボランティア活動の経験はないが、機会があればぜひしたいと思っている
- 地域の行事・イベント、地域の祭りなどにはよく参加するほうだ
- 選挙はできるだけ欠かさずに投票したいと思っている
- 地域（コミュニティ）における住民同士のふれあいを大切にしている
- 自治会・町内会、PTAなどの活動には進んで参加している
- 街の美化や美観の保全是大事だと考えている
- 市民はだれも、外からの訪問者や観光客に気を配り、もてなすべきだ
- 地域の伝統や文化は大事であり、継承していくように努めている
- 地域の防犯や環境問題など、ご近所と協力し合って具体的に対処している
- 児童や若者の公共心の希薄化が気がかりだ
- 地域の問題や課題を行政まかせにしないで、市民も一緒に考え行動すべきだ
- 地域の出来事には常に注意して、さまざまな情報を見聞きするようにしている
- 災害時には市民の助け合いが必要であり、ふだんから準備・訓練をしておくべきだ
- 地域の寺・神社などの文化財は心のよりどころとして大切にすべきだ

・・・選択数

社会性高：8～15

社会性中：3～7

社会性低：1～2

社会性無：0